

請願第8号	受理年月日	平成30年3月12日
付託委員会	教育文化委員会	
件名	学校給食の改善について	
<p>要旨</p> <p>北九州市の学校給食の直営校は、民間委託が進む中で平成29年度は140校中21校しか残っていない。直営校の調理員は、安全でおいしい質の高い学校給食が提供できるように、市全体の学校給食の向上に努めているが、このままでは、数少ない直営校の調理員の退職により、給食の質の低下を招く。</p> <p>現在、学校給食の無償化が行われている自治体は57市町村あり、一部補助を行っている自治体は398市町村もある。義務教育は無償とされている中、給食費も当然無償にすべきではないか。</p> <p>米飯給食の実施以来、本市では一食弁当箱方式での米飯給食が行われているが、近隣市町村では、自校炊飯が主流となっており、本市の方式では、本来の米のおいしさを伝え切れない。また、統一献立一括購入をやめれば多種多様な食材を使用でき、献立をより充実させることができる。</p> <p>学校給食は、教育の一環と位置づけられており、より安全でより豊かなおいしい給食を子供たちに提供するべきである。</p> <p>については、次のとおり措置していただきたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校給食の民間委託を中止し、直営校を存続すること。 2 給食費は、子育て支援のため無償化すること。 3 米飯は各学校で炊飯し、そのための機材と人員を確保すること。 4 給食食材は、安全で新鮮な多種多様な地元産の食材を使用しやすくするために、統一献立一括購入をやめ、せめて区ごとの献立・食材購入にすること。 		